

第17回大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 審査委員のご紹介

<敬称略、委員長以外50音順>

①審査委員長【二次審査、最終審査】

古賀マネージメント総研株式会社 代表取締役社長 古賀 光雄



S59 公認会計士登録

S52 等松・青木監査法人（現 監査法人トーマツ）入所

H7 トーマツ コンサルティング株式会社代表取締役

H9 トーマツ・ベンチャーサポート株式会社設立、代表取締役

H24 古賀マネージメント総研株式会社設立、代表取締役

H27 ニッポン新事業創出大賞経済産業大臣賞（支援部門・最優秀賞）受賞

トーマツ在職時から九州でのベンチャー支援に取り組む。

退職後も古賀マネージメント総研株式会社を創立し、トーマツで築き上げたネットワークを活用してベンチャー支援を行っている。

②審査委員【最終審査】

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）理事 久木田 正次

H19 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 バンコク事務所長

H22 同 機械システム部長

H23 同 技術開発推進部長

H26 同 イノベーション推進部長

H27 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部長

H29 同 理事（新任）



③審査委員【最終審査】

日本ゼオライト株式会社 代表取締役社長 佐藤 隆



S46 株式会社経営管理センター入社 福岡支店長

S63 株式会社日本コンピュータ・アソシエーツ設立 代表取締役社長

H2 日本ゼオライト株式会社 代表取締役社長

H18 NPO 法人 科学の公園 専務理事就任

H19 社団法人九州ニュービジネス協議会 理事就任

④審査委員【二次審査】

公益社団法人 日本技術士会 九州本部 副本部長 末松 正典

1972～2004 ㈱安川電機製作所（現 安川電機）

2004～2012 科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ福岡

2012 九州工業大学 工学府博士後期課程 機械知能工学専攻 入学

2013 同上 中途退学

2013 ㈱IHI（九州支社）



⑤審査委員【二次審査】

日本政策金融公庫 福岡創業支援センター所長 瀬之口 康弘



H7 国民金融公庫（現日本政策金融公庫）入庫

以降、福岡支店、上野支店、本店、熊本支店、佐賀支店に勤務
営業・融資審査などを担当

H22 中小企業診断士登録

H27 日本政策金融公庫国民生活事業福岡創業支援センター所長



⑥審査委員【二次審査】

株式会社 オフィスat 代表取締役 寺島 みちこ

タウン誌編集長、トッパンアイデアセンター西日本・プランナー、フリーマーケットを経て、2014年より現職。約1万人の女性ネットワークによる、女性視点マーケティング・プラットフォーム事業を手掛ける。

女性の声や力を活かした、女性視点マーケティング・主婦営業チーム・主婦採用プロデュース等で企業の課題解決をサポート。

2015 福岡市ステップアップ奨励賞

2016 西鉄オープンイノベーションコンテスト特別賞

⑦審査委員【最終審査】

株式会社グランドビジョン 代表取締役社長 中尾 賢一郎

大学卒業後に鹿児島の広告企画会社に入社。

26歳の時に電通九州に転職し、約9年に渡ってプランナーとして、様々なプロジェクトに関わる。

2011年(株)グランドビジョン創業。自らもプロデューサーとして、営業フィールドの拡大を図る。

タレントモデルエージェンシーMY STORY(株)の代表兼プロデューサーも務める。



⑧審査委員【二次審査、最終審査】

日本弁理士会九州支部 副支部長 羽立 幸司

(知的財産総合事務所 NEXPAT 所長・弁理士)

弁理士として経営者目線でベンチャー・中小企業支援に取り組んでいるとともに、(一社)九州の食の理事として九州の食のブランド化に尽力している。

日本弁理士会知的財産経営センター運営委員。

第3回モノづくり連携大賞(日刊工業新聞社主催)大賞受賞など。

⑨審査委員【最終審査】

株式会社 Fusic 取締役副社長 浜崎 陽一郎

九州大学 大学院在学中にシステム開発会社「株式会社 Fusic」を起業。

「クラウドコンピューティング」「人工知能」分野をコア技術として、数多くのシステム開発プロジェクトを手がける。また、世界初のTVデータ放送情報コンテンツ配信ツール「Delids」、日本で圧倒的シェアを持つ通販支援ツール「売れるネット広告つくる」、多くの多国籍企業が導入する人事評価ツール「360度評価支援システム」、開発支援ツール「mockmock」等、数多くのWebサービスも提供。

2017九州・山口ベンチャーマーケット大賞受賞。



⑩審査委員【二次審査】

有限会社 BOND 代表取締役 古川 ひろ美

「言語や画像から人の感情を解析」×「表情や仕草など伝達力を向上される総合演出」する独自人工知能を先駆けて開発。簡単迅速にお喋りする動画コンテンツを生成・配信・双方向対話でき、コンテンツの需要・情報周知・意思疎通の課題を多言語で解決している。

2013MIT-VFJ 優秀賞、2014DBJ ファイナリスト表彰、2017フクオカベンチャーマーケット特別賞など。



⑪審査委員【最終審査】

一般社団法人九州経済連合会 産業振興部長 文野 唯史

S52 東陶機器株式会社（現 TOTO 株式会社）入社

H14 同 信越支社支社長。

その後同社販売統括本部 TSC 推進室長を経て販売会社 TOTO エムテック（株）取締役管理本部長、TOTO(株)に帰任後販売統括本部上席主幹。

H27 一般社団法人九州経済連合会 産業振興部 副部長

H29 現職

⑫審査委員【二次審査】

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

イノベーション推進部

主査 松永 淳

S62 富士フィルム(当時富士写真フィルム)株式会社入社

S62～足柄研究所にてハロゲン化銀感光材料乳剤要素技術開発

H4～インスタントカラーフィルム商品化

H12～カラーペーパー商品化

H17～先端コア技術研究所にて先端技術研究開発管理

H23～技術戦略部にて技術系人材教育と社内イノベーション風土改革推進

H27～NEDO イノベーション推進部に出向、研究開発型ベンチャー支援



⑬審査委員【最終審査】

経済産業省 九州経済産業局 地域経済部長 最上 賢治

S58 通産省(福岡経済産業局総務部開発企画課)入省。

その後、貿易局総務課総括係長、四国経済産業局産業部新規事業課課長補佐、中小企業庁事業環境部企画課企画官、中小企業庁長官官房中小企業基盤整備機構室長、中小企業庁経営支援部経営支援課企画官新エネルギー・産業技術総合開発機構関西支部統括主幹、中小企業庁事業環境部企画課経営安定対策室長 九州経済産業局産業部長などを経て H29 年 4 月現職

⑭審査委員【最終審査】

グローバルブレインズ株式会社 代表取締役社長 森 俊英

- ・グローバルブレインズ(株) (地元 IT 企業) 社長 (30 期目)
- ・(一社) 福岡中小企業経営者協会 理事: ビジネス拡大委員長
- ・(一社) 福岡県情報サービス産業協会 ビジネス開発委員長
- ・ふくおかクラウドアライアンス (地元 CSR 活動) 企画運営
- ・福岡 IT コーディネーター推進協議会 理事: 教育研修委員長
- ・(社) クラウド利用促進機構 ビジネスアドバイザー



⑮審査委員【二次審査、最終審査】

株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ

マネジングディレクター 山口 泰久

1986 日本開発銀行 (現日本政策投資銀行) 入行、2006 年行内ベンチャーとして VC を設立し、本邦初の知財ファンドの運用開始。DBJ キャピタル(株)取締役等を歴任し、2017 年 5 月より、株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ・マネジングディレクターに就任。九州・大学発ベンチャー振興会議と連携する FFG ベンチャーファンド (総額 50 億円) の運用を担当し、大学発ベンチャーの育成を行っている。